



駐車場の前面道路は一方通行です。
周辺道路の交通規制についてご確認をお願いいたします。

ストックマンション弘明寺月極駐車場
横浜市南区通町3-53-2

操作手順

操作盤（グレー）を開けてください。

（操作終了後は、必ず閉めてください。）

電源スイッチをON側として下さい。電源表示灯が点灯します。

運転モードスイッチを「契約」として下さい。

- ① 予鈴ボタンを押して下さい。
- ② テンキースイッチにて、4桁の暗証番号を押して下さい。
- ③ 運転ボタンを押して下さい。
- ④ 指定されたケージが着床して出入口扉が開きます。
- ⑤ 自動車の出庫、入庫を行って下さい。
- ⑥ ターンテーブル運転ボタンを押して、自動車の向きを変えて下さい。
- ⑦ 完了ボタンを押して下さい。（自動車の位置、車のドアのチェック等、安全を十分確認した後にボタンを押して下さい。）

※注意事項

- ①、使用前に収容車サイズを確認してください
（タイヤ幅は記載ありませんが1720mm以下です）
- ②、荷物および同乗者の下車は、機械駐車に入る前に行ってください
- ③、機械駐車に入るのは必ずドライバー1名としてください
（②、③では安全装置であるインターロックが正しく検知しない場合があります）
- ④、入庫したら車のドアミラー、アンテナは必ずたたんでください

1. 運転操作盤の機能および名称

電源キースイッチ

電源を投入するとき、入側にします。
電源表示灯が点灯します。

電源表示灯

電源が入ると点灯します。この表示灯が点灯しないと、全ての運転が出来ません。又、各モーターに不具合が生じたとき点滅します。

位置ずれ表示灯

停止位置がずれたとき、ドアガード装置が作動しないとき点滅します。

運転注意表示灯

ケージに搭載した自動車が、手前及び奥側にはみ出している時、車のドアが開いていたり塔内に人が居たりした場合、点灯して運転不能となります。

出入口ケージ表示器

出入口に着床しているケージの番号を表示します。呼びケージ表示とあわせて、契約運転の際の暗証番号(上2桁)を表示します。

照明点灯スイッチ

駐車場塔内1階の照明を点灯させます。

呼びケージ表示器

テンキー押しボタンにて指定された呼びケージの番号を表示します。出入口ケージ表示器と共に、暗証番号(下2桁)を表示します。又、故障時には、70~90番台の数字を表示します。

テンキーボタン

契約運転時:暗証番号打込みに使います。
クリアボタン:番号を間違えたときに使います。
空呼びボタン:自動運転入庫の際ボタンを押すと、搭載バランスを考えたボタンを自動選択表示します。

運転ボタン

契約運転時、暗証番号打込み後、押す事により循環運転を開始します。

予鈴ボタン

入出庫時、安全を確認した後ボタンを押すと運転予鈴が鳴り運転態勢に入ります。

完了(扉閉)押ボタン

契約運転時、出庫又は入庫が一行程終了すると点滅します。入出庫完了後、塔内の安全を確認し、このボタンを押して下さい。

非常停止押ボタン

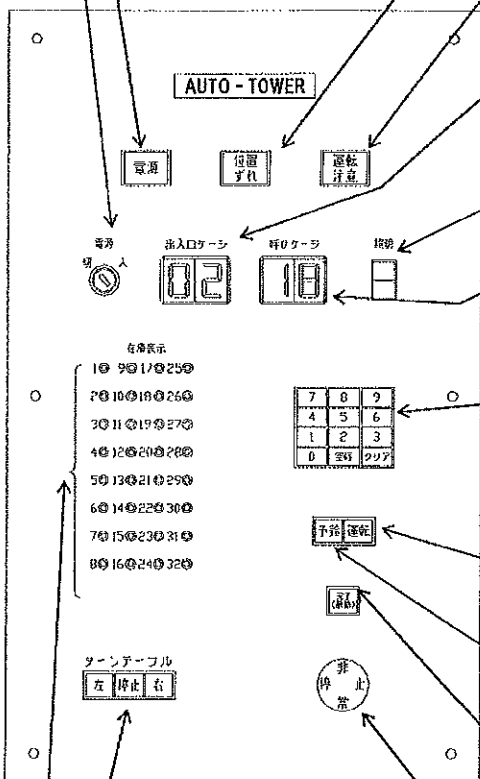
ボタンを押すと、電源がオフし全ての運転が停止します。復帰の際は、押ボタンを右(リセット)方向に回転させると飛び出して復帰します。

ターンテーブルボタン

右又は、左ボタンを押すとターンテーブルが回転します。
回転部の安全を十分確認してから、操作してください。

搭載表示灯

車をケージに搭載したことを記憶したとき点灯します。又、循環運転中、現在位置が点滅してインジケータの役目をします。

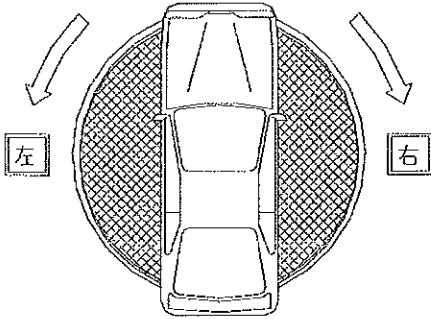


2. ターンテーブル装置の機能と役割

ターンテーブルは出入口の自動車の方向転換を行う装置です。

操作手順

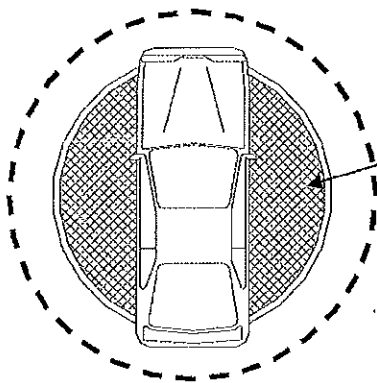
1. ターンテーブル上に自動車の4輪が確実に載っていることを確認してください。
2. 回転可能範囲に自動車が入っているか確認してください。
3. 回転可能範囲に障害物や人がいないか確認してください。
4. 運転操作盤の「右」「左」ボタンを押してください。
押している間だけ、ターンテーブルが回転します。



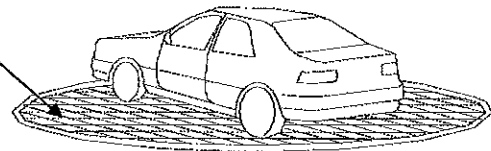
⚠ 注意

ターンテーブルの回転中は、人や他の自動車が近寄らないように注意し、すぐに非常停止ができるように運転操作盤から離れないでください。
運転操作の時は、自動車や建築物・機械装置等を破損しないよう十分注意してください。

良い例

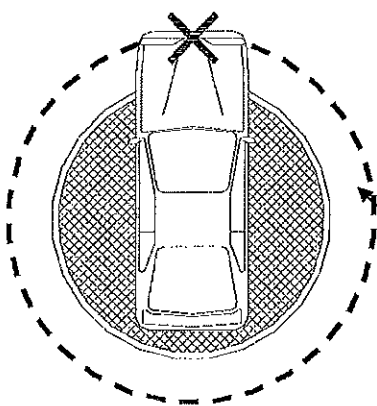


ターンテーブル

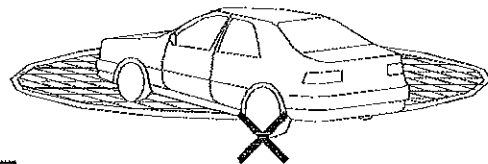


自動車のタイヤ全てがターンテーブルに載り、自動車の車体も回転可能範囲に入っています。

悪い例



回転可能範囲
(ペイント等で表示 *オプション)


















自動車のタイヤがターンテーブルから外れています。
自動車の車体が回転可能範囲よりはみ出しています。












3. 操作手順・操作時の安全確認・安全装置の働き

契約運転モード（運転に必要な教育を受けた特定の運転操作員の方が操作する場合）

入庫の場合

操作手順	操作時の安全確認	安全装置の働き
1. 自動車を駐車装置手前で停車させてください。 	駐車装置手前で同乗者を降ろしドライバー1名のみ乗車としてください。	パネル扉が閉まっています。
2. 操作盤の扉を開き、「予鈴」ボタンを押してください。 	入庫前の安全確認  危険 駐車場内に人がいないこと	予鈴が鳴ります。
3. テンキーボタンにより暗証番号を打ち込み、続いて「運転」ボタンを押してください。 	 注意 駐車場内に障害物がないこと パネル扉が閉まっていること アンテナが出ていないこと	
4. 駐車装置が循環し、ケージが出入口に着床します。 		パネル扉が開きます。
5. 案内表示灯が「前進」を表示したら自動車をケージ内に乗り入れてください。 	 注意 案内表示灯が「前進」であること	光電センサーで入庫を検出し案内放送が開始します。同時に入庫インターロックがセットされます。
6. 自動車がケージ内の正しい位置に停車すると、案内表示灯が「停車」を表示します。「後退」を表示している時は自動車を後退させ、正しい位置に停車させてください。 	 注意 正規の位置に自動車が停車していること 案内表示灯が「停車」であること	光電センサー（PI1・3）で車長検出、光電センサー（PI4）で飛び込み防止検出を行っています。また、光電センサー（PI2）を除いた全ての光電センサーによって人や障害物の検出を行っています。（駐車装置運転中は出入口階の検出は行っていません。）
7. パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPレンジに入れ（マニュアル車の場合はローまたはバック）、ドアミラーをたたみ、エンジンを止め、自動車のドアを閉め、駐車装置外に退出してください。 	駐車装置内の安全確認  危険 駐車場内に人がいないこと  注意 ドアミラーを必ずたたむこと  注意 駐車場内に障害物がないこと 自動車のドアが閉まっていること	光電センサーにて入庫インターロックがリセットします。
8. 「完了」ボタンを押して操作盤の扉を閉めてください。	 危険 パネル扉が閉まったこと	パネル扉が閉まります。

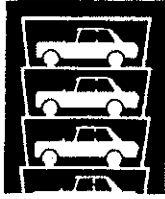
出庫の場合

操作手順	安全確認事項	安全装置の働き
1. 操作盤を開き、「予鈴」ボタンを押してください。 	出庫前の安全確認  危険 駐車場内に人がいないこと	パネル扉が閉まっています。 予鈴が鳴ります。
2. テンキーボタンにより暗証番号を打ち込み、続いて「運転」ボタンを押してください。 	 注意 駐車場内に障害物がないこと パネル扉が閉まっていること	
3. 駐車装置が動作してケージが出入口に着床します。 		パネル扉が開きます。
4. ドライバーのみが駐車場内へ入り自動車を駐車装置外へ出庫させてください。 	 危険 駐車装置手前で同乗者を待機させ、ドライバー1名のみの乗車としてください。	光電センサーで人を検出し、インターロックがセットされ、また、出庫を検出してインターロックがリセットされます。
5. 「完了」ボタンを押してください。 	駐車場内の安全確認  危険 駐車場内に人がいないこと	パネル扉が閉まります。
6. ターンテーブル旋回「左」または「右」ボタンを押して自動車の向きを変えて、操作盤の扉を閉めてください。	 注意 駐車場内に障害物がないこと	
	 危険 パネル扉が閉まったこと 駐車場外への安全確認 歩行者への注意 車道への注意	

入庫インターロックとは

自動車を入庫したとき、ドライバーが駐車装置外へ退出するまで駐車装置が動作しないようにロックする保安機構です。光電スイッチ(PI3、4)により、その通過順序で入出庫および人の退出を検出し、インターロックの動作および解除を行っています。

したがって、駐車装置内に2名以上入った場合 や 駐車場内での荷物の積み降ろしを行なった場合 にはインターロックが正しく働かない場合がありますので、入庫時には同乗者全員を必ず駐車装置手前で降ろし、ドライバー1名が駐車装置内に入るようにしてください。また出庫時にもインターロックが作動しますので、ドライバー1名が駐車場内に入り出庫するようにしてください。



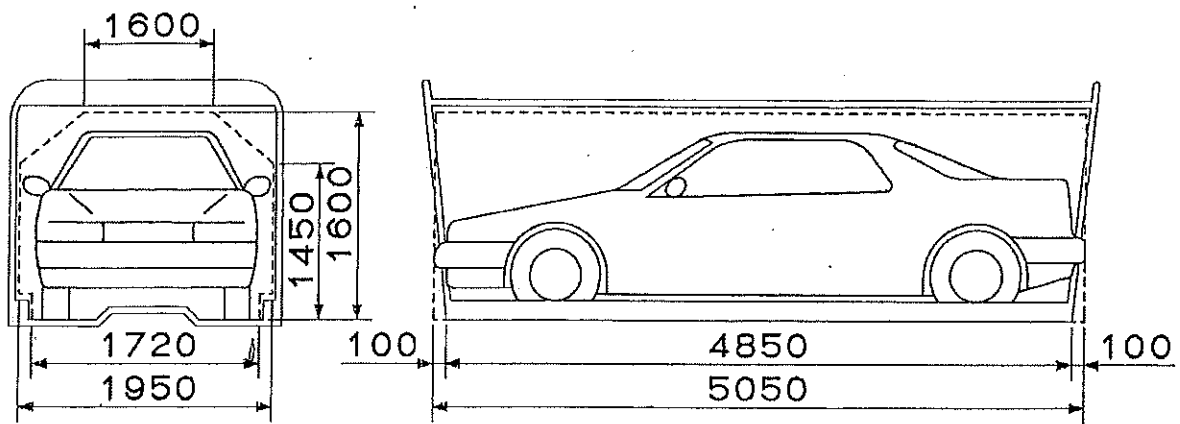
ストークマンション弘明寺、立体駐車場

Auto Tower

Type MM

オートタワー収容車の制限寸法について

この駐車場に入る車の制限寸法および制限重量は、下記のとおりです。



長さ	5050mm
幅 (ミラーを含む)	1950mm
高さ	1600mm
※重量	1700kg
トレッド	1500mm

※重量とは、車検証の車両重量のことです。
糸釣車両ではありません。

1. 駐車車両の寸法および重量は、車検証等でお確かめください。
(車検証での幅寸法は、ミラー幅を含んでいませんので、ご注意ください。)
2. 極端に車高の低い車は、ケーシ床面とのすき間に、ご注意ください。
3. 極端にタイヤ幅の太い車は、乗り込み部の寸法に、ご注意ください。
4. 各種キャリア、アンテナを取り付けての乗り入れは、ご遠慮ください。
5. トラック等の特殊な形をした車の乗り入れは、ご遠慮ください。

